

たくましい子



令和2年7月17日発行
中通小学校長 川尻 優

特別な夏休み

学校だより七月号が届けられる七月下旬は、例年であれば夏休みです。ところが、今年度は、四・五月の臨時休校の影響で、夏休みは開始が八月八日からと遅くなり、期間も八月二十三日までの二週間という短いものとなりました。今後第二波、第三波の襲来により、さらなる臨時休業措置がなされないとも限りません。短縮されて授業日になった七月二十七日から八月七日の期間は、感染症予防と熱中症予防の対策を図りながら、粛々と学習進度の獲得に努めてまいります。

また、後にも先にもあまり体験することのない「特別な夏休み」につきましては、次のことを意識したり、注意したりしながら、充実した夏休みにしていただきたいと思います。

1 健康に過ごそう

「新しい生活様式」に基づく感染症予防対策をします。
規則正しく生活し、健康的な生活を送ります。

2 安全に過ごそう「自分の命は自分で守る！」

- ・ 熱中症予防のための行動を心掛けます。
- ・ 交通ルールとマナーを守り事故を防ぎます。
- ・ 花火は大人と一緒にやります。火遊びはしません。
- ・ 水の事故を防ぎます。遊泳中の事故防止三つの安心カン
- ①管(カン)理された遊泳場②大人による監(カン)視
- ③新型コロナウイルス感(カン)染防止
- ・ 不審者に注意します。(きようはいかのおすし)の徹底)

3 家族と過ごそう

- ・ 以前のように、行きたいところに自由に行ける環境はまだ整っていません。こんなときだからこそ、家族と過ごす何気ない時間を大切にしたいと思っています。
- ・ 普段できないような特別なことは望めなかもしれませんが、しかし、こんな状況こそが特別なことであると前向きに捉え、貴重な夏休みにしてほしいと願っています。
- ・ 宿題や課題は最小限にしています。家族の一員として、家族のために自分ができることに取り組みましょう。

4 めあて意識をもつて過ごそう

これらのことを意識したうえで、どんな夏休みを送ったら良いか、ご家族でめあてを話し合っていたいただきたいと思います。

四月のスタートから、新型コロナウイルス対策のために、保護者の皆様には多大なるご負担をお掛けいたしました。大きな事故やけがなく過ごせたことに、心より御礼申し上げます。今後とも、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

体験的な活動の充実を目指して

学校では、さまざまな体験活動が計画されています。体験活動は、机上だけでの学習とは趣が異なり、子どもたちは体験をとおして五感を使って自然的、社会的、文化的な人やモノ、コトと関わり、豊かな学びを習得することが期待できます。ところが今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策の影響で、例年行ってきた体験活動が制約を受けています。それでも、子どもたちへの深い学びが期待できる体験活動ですので、どの学年も「学校の新しい生活様式」のもと、工夫を凝らして活動に取り組んでいます。

1・2年生 野菜作り



例年、地域の「畑の先生」をお招きして、野菜作りについて教えていただきながら野菜を育てていました。今年度は、それができずに、すべて子どもたちだけで取り組んでいます。苗植え、水やり、草取りなど、心を込めて一生懸命に野菜の世話をしています。そして、6月下旬、ついに野菜が収穫できるようになりました。例年に比べれば、収穫量が少ないかもしれませんが、形や色が悪いかもしれませんが、それでも、自分たちの力で育てて収穫した野菜に対する思いは例年以上です。お家に持ち帰って、保護者の方からアドバイスをいただいたり、いずれ畑の先生と交流できる日が来たときに自分たちの体験を振り返ったりしながら、体験活動に意味や価値を付加して、学びを深めていけるよう支援していきます。

8月の予定

3日(月) 清掃強調週間(～7日)
5日(水) 若葉祭り(児童会祭り)
7日(金) 前期前半終了集会
4限給食清掃後放課



8日(土)～23日(日)
夏季休業



24日(月) 前期後半開始集会
3 限後放課



※今後の新型コロナウイルス感染予防対策により、予定が変更になることもございます。ご承知おき願います。



3・4年生は、6月中旬、クリーンセンターに社会科見学に出掛けました。教室での授業から始まった学習ですが、家庭でのごみ調べや、3年生は学校周辺のごみ調べ、4年生は柏崎市環境課の職員による出前授業をそれぞれ体験した後の見学でした。自分たちが学んできたことを、実際に現場で見聞きし、学びが深まりました。

4年生は、国語で「手紙の書き方」を学習していて、見学後にお礼の手紙を書きました。どの子どもも、体験活動と国語の学習を結び付け、心のこもった手紙を書きました。その中から、一人の手紙を紹介します。

マコモタケやイネ科の植物が育つ時期になりました。皆さん、お元気ですか。

先日は、地球温暖化のことを教えてください、まことにありがとうございました。ぼくは、出前授業でいただいた「かんきょうノート」にマコモタケというイネ科の植物のことが書いてあったことが少しびっくりしました。ぼくは、理科が好きで、自由研究でマコモタケのことを調べてきました。マコモタケは、地さん地消ということがわかりました。地さん地消とは、地元でとれる食材を食べることです。矢田へは自転車でも行けます。トラックや飛行機などを使って運ばなくてよいので、はい気ガスも出ません。なので、地元のマコモタケをいっぱい食べたいです。

ぼくは、きれいな食べ物がいっぱいあるので、一口食べて食べられそうだったら二口、三口、四口と食べていきたいです。そして、食べのこしを少なくして、ごみをへらしていきたいです。

これからも暑い日が続きます。熱中症にならないようにしてください。そして、ごみをへらすことがどれだけ大切かを、これからもみんなに教えてください。

これまでの経験と、学習したことを照らし合わせながら手紙を書いています。また、学習したことから今後の自分のよりよい行動について考えており、学びが深まりました。

今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、予定されていた国立妙高少年自然の家での1泊2日の自然教室は実施できませんでした。代わりに、県立こども自然王国での日帰り自然教室となりました。

事前学習として、子どもたちは赤組・白組の2チームに分かれ、それぞれオリジナルのしおり作りに取り組みました。「薪の着火の仕方・良い燃やし方」、「おいしいカレーの作り方」、「飯盒を使つての米の炊き方」、「熱中症やけがへの対処法」など、一人1台タブレットを駆使しながら、徹底的に調べ、しおり作りに生かしていました。

一人ひとりの子どもが主体的に臨んだ自然教室の様子をお知らせいたします。

アドベンチャーラリー

アドベンチャーラリーでは、グループのメンバーで協力しながら、三つの課題のクリア目指して頑張りました。そして、時間内に、敷地内に点在しているウォークラリーのポイントを探して、ポイントに掲示されているクイズの答えを考えました。さまざまな課題に四苦八苦しながらも、みんなで協力しながら、楽しい時間を過ごすことができました。



ルールをつないでバケツにピンポンを入れます。

野外炊飯

野外炊飯「カレーライス」は、炊事担当と、かまど担当に分かれて作業を行いました。炊事担当は、役割を分担して具材を切ったり、お米を研いだりしました。かまど担当は、炊事担当の飯盒と鍋の準備ができるタイミングを見計らいながら、火を着けました。飯盒炊飯にちょうど良い火加減となるよう、薪の量を調整しました。

赤組も白組も、とてもおいしいカレーライスができました！



カヌー体験

カヌー体験では、「カヌーが転覆しないか」、「前に進めるかな」と不安の声も聞かれましたが、カヌーに乗ったら不安は吹き飛びました。スイスイ進むことができる子どもはもちろんのこと、思うように進むことができなかった子どもも徐々にコツをつかみ始め、カヌーを楽しむことができました。心配していた「転覆」ですが、子どもの中からは一人も転覆者は出ませんでした。（ただし、大人で転覆者がいたようです…。）



自然教室を振り返って

この自然教室をとおして、自分が成長できたことは、仲間のことをちゃんと見て、自分の良さを見つけられたところです。自然教室の前までは、あまり仲間を見ることができなくて、自分の良さを見つけられなかったけど、自然教室で様々な体験をすると、だんだん仲間を見ることができたり、「自分はこうゆうところが良いな」などと、自分の良さに気付いたりすることができました。本当に自然教室に行けて良かったし、自然教室の活動を生かして、これからもがんばりたいです。

体験が、子どもの成長に大きく影響していることを改めて感じさせられた作文でした。コロナ禍で、何かと制約を受けた生活が続いていた中、どの子も終始笑顔が絶えず、思い出に残る1日となりました。子どもたちを温かくお迎えいただき、親切丁寧に指導して下さった県立こども自然王国のスタッフの皆様にも感謝します。

